



「アジアブライダルサミット2009」（静岡新聞社・静岡放送協賛）が開幕した10日、会場のグランシップ（静岡市駿河区池田）で、アジアの6カ国が伝統的な婚礼の様子を再現する「模擬挙式」が繰り広げられた。学生やブライダル産業関係者らが来場し、民族の歴史や精神を色濃く反映した婚礼風景に酔いしれた。

多民族国家のマレーシアは、数ある婚礼形式の

静岡模擬挙式で衣装披露

アジアの婚礼華やか

中から中国の影響を受けた「プラナカン・ウエディング」を紹介した。結婚式当日、新郎が新婦の家に出向いて新婦と対面し、2人きりで食事を取った後、両家の両親に結婚を報告するまでの一部始終を再現した。

新郎新婦は赤、青、金のきらびやかな刺しゅうを施した婚礼衣装に身を包み、婚礼のダンスを披露して、会場から喝采（かっさい）を浴びた。

華やかに繰り広げられた
アジア各国の模擬挙式―静岡市駿河区のグランシップ